

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和3年9月28日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 新型コロナウイルス感染症、予防接種の進捗状況について

② 令和3年度 第2回多職種連携会議の開催の報告

③ 令和3年度 第3回多職種連携会議開催について

④ 第15回総社市地域医療介護連携推進委員会 ICT 部会について

4 協議事項

① 「新見版情報共有書(地域連携パス)」のアンケートの進捗状況

② その他

次回開催日

令和3年 月 日（ ）

令和3年度 第2回医療・介護多職種連携会議 次第
(在宅医療に従事する人材育成研修会)

日時： 令和3年 9月 22日 (水) 18:30～20:30

場所： 介護老人保健施設くろかみ 研修室
新見市地域福祉センター 多目的ルーム
ZOOMによるリモート参加

1 開 会

2 挨拶

3 講 演

「2021年 糖尿病の話 軽症の対応、最新の薬、最近の食事療法について」

太田病院 院長 太田 徹 医師

太田病院 日本糖尿病療養指導士 竹田実可管理栄養士

◇質疑応答・ディスカッション

4 挨拶

5 閉 会

「新見版情報共有書」 「新見版情報共有書(認知症用)」 についてのアンケート

発送 84

返送 31

①知っていて、使用したことがある	20	使いやすい	12	今のままで良い	8
				変えてほしいところがある	4
②知っているが、使用したことは無い	9	使いにくい	2	今のままで良い	0
				変えてほしいところがある	2
③知らない・使用したことがない	2	どちらとも言えない	6	今のままで良い	4
				変えてほしいところがある	2

※①と答えた事業所の中に、
認知症用については知らない
という答えが2事業所あり

変更してほしいところ

- ・用紙に変更してほしい部分を具体的に記載して返送(7)
- ・エクセルの入力が使いやすいようにしてほしいです
- ・昔の書式に入れているので、新しい書式になっても、昔のデータを取り込めるようになっていたら助かります

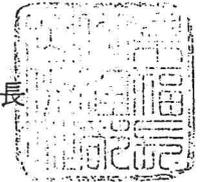
変更してほしい部分の記載例

- ・情報量が多く、書ききれないのでこの枠を広くしてほしい
- ・システムの関係で、入力しにくい点
- ・例を入れておいて選択できるようにしてほしい 等

令和3年9月16日

一般社団法人新見医師会 会長 太田 隆正 様

岡山県保健福祉部長



令和3年度「医薬品の適正使用推進のためのブラウンバッグ実証実験事業」への御協力をお願い

本県医療行政の推進に当たりましては、平素より大変お世話になっております。

昨年度、新見・高梁地域において、県民に薬を正しく服用していただくための取組の一環として実証実験を実施した際は、貴職及び貴医師会会員様に多大な御理解と御協力を賜りありがとうございました。

お陰をもちまして、ブラウンバッグの配布により、地域住民の服薬アドヒアランス向上や残薬整理、医薬連携の推進等に一定の効果が見られたことから、今年度も、昨年度と同様の方法により、ブラウンバッグの集中配布を実施することといたしました。

つきましては、別添依頼文書のとおり貴会員の皆様へ取組内容を周知し、御協力を仰ぎたいと考えておりますので、御高配を賜りますようお願いいたします。

記

1 実施期間

令和3年11月1日（月）～令和4年3月31日（木）

2 本事業に関するお問い合わせ先

岡山県保健福祉部 医療推進課 疾病対策推進班（担当：作間、谷口）

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

電話：086-226-7321

FAX：086-224-2313

E-mail：keishiyou_taniguchi@pref.okayama.lg.jp

令和3年9月16日

一般社団法人新見医師会 会員各位

岡山県保健福祉部長



令和3年度「医薬品の適正使用推進のためのブラウンバッグ運動」への御協力をお願い

本県医療行政の推進に当たりましては、平素より大変お世話になっております。

昨年度、新見・高梁地域において、県民に薬を正しく服用していただくための取組の一環としてブラウンバッグ実証実験を実施した際は、多大な御理解と御協力を賜りありがとうございました。

お陰をもちまして、ブラウンバッグの配布により、地域住民の服薬アドヒアランス向上や残薬整理、医薬連携の推進等に一定の効果が見られたことから、今年度も、昨年度と同様の方法により、ブラウンバッグの集中配布を実施することといたしました。

期間中は、薬局及び患者様からの相談が増える可能性があります、可能な範囲で御対応いただけますと幸いに存じます。

記

1 ブラウンバック集中配布期間

令和3年11月1日（月）～令和4年3月31日（木）

岡山県薬剤師会高梁支部、新見支部に加盟する調剤薬局において来店者に専用の手提げ袋（ブラウンバッグ）を配布し、家庭の残薬を持参するよう呼びかけます。詳しくは別添「令和3年度医薬品の適正使用推進のためのブラウンバッグ運動実施要領」を御参照ください。

2 医師の皆様へお願いしたいこと

(1) 残薬整理に関連して薬局から以下の相談がありましたら、御協力をお願いいたします。

① 服用中の薬で、飲み残しがあることが確認された場合

→処方箋が出ているタイミングであれば、疑義照会により残薬量をお伝えしますので、処方日数の変更をご検討ください。

→それ以外の時期であれば、残薬量をお伝えした上で、次回処方時の対応について相談させていただきます。(次回の処方日数を減らしていただく、または薬局から改めて疑義照会させていただき調整する、など)

② 現在は服用していない残薬が確認された場合

→不要な薬であることの確認が取れば、患者さんの許可をいただき、薬局で責任

を持って廃棄させていただきます。

- ③ 院内処方薬についても、飲み忘れ等による残薬が確認された場合には、御報告させていただきます。

(2) 以下のことについても、薬局から相談がありましたら、対応を御検討ください。

- ・ 重複や、飲み合わせに注意が必要な薬が確認された場合（投薬中止の検討）
- ・ 飲み忘れや飲み過ぎについて、一包化等の服薬支援が有効と思われる場合（一包化指示等の検討）

(3) その他の御依頼事項

- ・ ブラウンバッグの配布及び取組内容の説明は主に調剤薬局で行うことを想定しておりますが、貴院（院内薬局含む）において患者様へ配布や説明を行っていただける場合は、別添「ブラウンバッグ資材送付希望用紙」にて、バッグ及びちらしの必要枚数をお知らせ下さい。
- ・ 薬局からブラウンバッグを渡された患者様が、医療機関へ残薬を持参された場合は、お手数ですが薬局へ持って行くように御案内いただけますと幸いです。（参加薬局の一覧を掲載したチラシを作成し、後日お届けさせていただきます。）
- ・ 本事業につきまして、お気づきの点や御意見等がございましたら、県担当者宛てに御連絡いただけますと幸いです。

3 本事業に関するお問い合わせ先

岡山県保健福祉部 医療推進課 疾病対策推進班（担当：作間、谷口）

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

電話：086-226-7321

FAX：086-224-2313

E-mail：keishiyou_taniguchi@pref.okayama.lg.jp

令和3年度医薬品の適正使用推進のためのブラウンバッグ運動実施要領

1 目的

高齢化により定期的に薬を服用する必要のある人が増える中、飲み忘れによる治療効果の低下や、飲み過ぎや誤服用による健康被害への対応が全国的な課題となっている。このような中、令和元年度から令和2年度にかけて、県内の指定地域においてブラウンバッグ(※)による残薬整理の実証実験及びフォローアップを行ったところ一定の成果が見られたことから、今年度、令和2年度実証実験実施地域においてフォローアップのための集中配布を行うものである。

(※) 薬局から患者へ袋を提供し、自宅の薬を持参していただいて薬剤管理を行う取組のこと。
ブラウンバッグという名称は、1990年代にアメリカで茶色の袋が使われていたことに由来する。

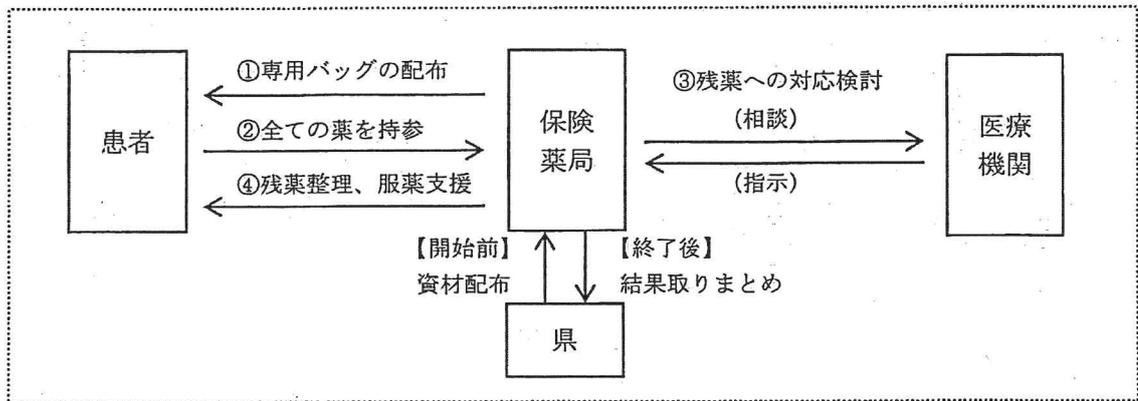
2 指定地域

高梁市及び新見市(令和2年度実証実験実施地域)

3 実施期間

令和3年11月1日(月)～令和4年3月31日(木)

4 基本スキーム及びスケジュール



令和3年10月上旬	関係機関への協力依頼、参加薬局の取りまとめ	【県】
下旬	バッグ及びチラシの作成、参加薬局への配布	【県】
11月～	参加薬局においてバッグ配布開始	【薬局】
	残薬整理及び服薬支援の実施	【医療機関・薬局】
	対象地域の住民に対する周知広報	【県】
4月初旬	期間中の取組結果に関するアンケート回答	【薬局】
	アンケート取りまとめ、効果検証	【県】

5 ブラウンバック運動のアンケートによる検証項目

- ・バッグの配布数及び持参数
- ・残薬整理の実施件数(実数及び調剤報酬の算定件数)
- ・実施中に生じた問題点、課題など

6 県担当課(問い合わせ先)

岡山県保健福祉部 医療推進課 疾病対策推進班
電話 086-226-7321、FAX 086-224-2313



ピオーラ カフェ

ピオーラカフェは、認知症の人やその家族が気軽に立ち寄れて、地域の人たちとのつながりを作るきっかけにもなる場所です。地域の人や、介護や医療の専門職など誰もが参加できるカフェとなっていますので、お茶を飲みながらお話や相談をしながら交流を深めましょう！

開催について

開催日：奇数月の第4水曜日 13:30～15:30

場 所：新見市地域福祉センター

参加費：おひとり200円

参加者：30名程度

認知症の方やそのご家族、
認知症について理解を深めたい方、
どなたでもご参加いただけます！

その他：認知症や介護に関する相談のほか、
各種相談をお受けします

感染症対策について

*感染症対策のため、広い会場にて定員を設けて行います。

*マスクの着用や入室時の消毒・検温等にご協力ください。

*発熱や風邪症状がある場合は、参加をお控えください。

問い合わせ先

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

〒718-0016 新見市金谷 640-1

TEL 0867-72-7316 (介護保険課)

第 1 回



日 時 9月22日(水)

13:30～15:30

内 容 認知症に関する講話
介護予防体操 など

*当日は、動きやすい服装でタオル
をご持参ください

*事前の申込みは不要です

【次回日程 11月24日(水)】

どなたでも気軽に
ご参加くださいね♪

新見市社協イメージキャラクター
『ピオーラちゃん』



ふだんの 暮らしを しあわせに

令和3年度

にいみ福祉大会

市内で行われている地域福祉活動について、広く市民の皆さまに知っていただき、多くの地域に広がっていくことをめざして、にいみ福祉大会を開催します。

当日は、地域活動者の発表に加えて、気象予報士の中島望氏による記念講演や、本会が開催した川柳コンテストの表彰式も行います。

地域福祉関係者のほか、一般の方の参加もお待ちしていますので、裏面「申し込み方法」をご覧くださいの上、ふるってご参加ください。

1 笑顔を結ぶ川柳コンテスト表彰式

2 支えあい活動の取組発表

①正田地区 弁当配達見守り事業

②熊野の将来を考える会 助け合い事業

取組の詳細については、裏面をご参照ください。

3 記念講演 「豪雨災害から身を守る地域の絆」

気象予報士 中島 望 氏

(NHK岡山放送局「もぎたて」出演)

雨の発生のメカニズムや、昨今の雨による災害の状況、豪雨災害から身を守るポイントなどについてお話しいただきます。



と き 令和3年10月17日(日)

13:30~16:00(13:00開場)

と ころ まなび広場ににいみ大ホール

9月30日(木)までに
お申し込みください

主催:社会福祉法人新見市社会福祉協議会

後援:新見市

令和3年度 にいみ福祉大会

取組の紹介

正田地区 弁当配達見守り事業	熊野の将来を考える会 助け合い事業
<p>小地域ケア会議で、地域の課題について協議を行い、「食事に困っている高齢者がいる」という意見があったことから、地域内での配食サービスの実施について検討。</p> <p>令和3年6月から、週に1回地区内のボランティアによる夕食の配食サービス「弁当配達見守り事業」をスタート。</p>	<p>小地域ケア会議などで、地域の課題について協議し、「移動手段に困らない地域にしたい」「ちょっとしたことが頼める団体があれば」などの意見があったことから、地域内での助け合い活動について検討。</p> <p>平成30年9月から、地域内のボランティアが、送迎支援や草刈り、片付けなどの要望に応じる「助け合い事業」をスタート。</p>

- 参加者 ①地域福祉関係者（地域運営組織・地区社協関係者、社会福祉法人連絡協議会会員等）
 ②一般参加者（200名、以下によりお申し込みください）

----- 一般参加者 申し込み方法 -----

①電話	☎0867-72-7306に電話いただき、住所・氏名・電話番号をお伝えください。
②メール	syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp（以下のQRコードでの読み取り可）に、住所・氏名・電話番号を記載の上、「令和3年度にいみ福祉大会参加希望」と添えてメールを送信ください。（参加申込用紙（下記）を記入の上、画像を添付送信いただいても構いません。）
③持参	参加申込用紙（下記）を記入の上、本会本所・各支所にご持参ください。

- ※ 一度に複数人の申し込みも可能ですが、その場合、必ず全員の住所・氏名・電話番号をお伝えください。
 ※ 感染症対策のため一般参加者は200名定員とします。定員に達した場合は、お断りする場合があります。
 ※ 感染症の流行状況により、大会規模の縮小や中止を行う場合があります。



参加申込用紙

メールアドレス

住所			
氏名	電話番号	—	—
住所			
氏名	電話番号	—	—
住所			
氏名	電話番号	—	—